

令和6年度 第2回 荇田西コミュニティハウス委員会議事録

- ◆ 日時 令和7年3月8日(土)午前13時～14時40分
- ◆ 場所 荇田西コミュニティハウス 大会議室
- ◆ 出席 委員14名中、8名の出席（委任状4件）
公益社団法人横浜市民施設協会 事務局次長
荇田西コミュニティハウス 館長

開会 荇田西コミュニティハウス 館長

挨拶

荇田西コミュニティハウス委員会 会長

公益社団法人 横浜市民施設協会 事務局次長

議事

1 荇田西コミュニティハウスからの報告事項について

(1) 令和6年度の利用状況(2月分まで) → 資料1 について館長説明

Q: 小学生の利用は、やはりゲームなどが多いか？

A: 通常は、交流サロンで、ゲームや勉強や本を読むなどが多い。特に多くなっているのは、例年は1度の荇田西小2年生の施設見学が、今年度は4度の来館となったから。館内での見学にとどまらず、人数も約100人となるため、『憩いの広場』も使って施設の紹介をし、社協の会長や、部屋利用団体からのお話と、フラダンスを一緒に踊るなどの活動を行った。

(2) 令和6年度の「荇田西憩いの広場」利用状況(2月分まで) → 資料2 について館長説明

会長: 荇田西コミュニティハウスのメリットは、内と外が使えるということであり、『憩いの広場』は、外を活用した取り組みである。ただ、倉庫の中のテーブルやパラソルは利用者が自分で用意することで、ハードルは高くなってしまっている。

Q: この広場で40人もラジオ体操ができるのか？パラソルも出すのか？

A: ラジオ体操ではパラソルは出さず、駐車場あたりも使い広がって運動している。パラソルはゆったり使っていただくときに利用してもらっている。椅子は50脚、テーブルは5個ある。

Q: 飴やソフトドリンクがもらえるとは？

A: ラジオ体操の取り組みは、月曜日泉公園、木曜猿田公園、金曜泉田向公園と進めてきて土曜日に荇田西コミュニティハウス憩いの広場となる。一週間の最後締めくくりでここで飴とソフトドリンクを配っている。ラジオ体操の活動の目的は、心身共の健康(健康維持と共に引きこもり対策)でもあり、会話をして繋がる絆を作ることにある。週4回を続けることで、年間205回のラジオ体操を行っていることは、誇らしいことである。

(3) 令和6年度自主事業報告 → 資料3 について館長説明

- ・ 特に春に行った竹フェスは、約650名の参加でにぎわい、来年度も4/29に『第3回竹フェス』を行う予定となっている。関連して、2/27には、竹フェスの際に使った竹を炭にして砕いた竹炭で墨汁を作るところから始まる「SOZAI 循環 Lab」による『竹づくしの竹炭墨汁アートにトライ!』という講座を行った。

会長： イツコムの地元ニュースで流れていた。いい取り組みだった。

(4) 令和6年度 利用者アンケートの結果について → 資料4-6 について館長説明

- ・ アンケートの結果では、無記入の場所や、読み違いもあったようなので、アンケートの形式について来年度は見直す。
- ・ 館内掲示についての「わかりにくい」は何を指しているか不明。1回目の委員会を受けて「防犯カメラ見守り中」の掲示、「小学生5時まで、中学生6時まで」、大会議室窓の「非常出口」としての掲示などを追加手直し。

ご意見： 掲示物は文字が多いとわかりにくい。言葉でなく、矢印などユニバーサルデザインなどを使うと、わかりやすい掲示になる。

Q： 部屋の予約のインターネット化については、検討されているか？

A： 小さな施設であることと、地区センターと違い無料の施設なので、なかなか難しい。

Q： 大小会議室の予約状況はHPで見ることができるのか？

A： 予約状況はHPで見ることができている。できるだけこまめに更新している。

(5) 令和6年度 利用者会議について → 資料7 について館長説明

ご意見： ご意見の中で、「交流サロンの声が気になる」という件について、実際、構造上声がよく通る。自分自身も気を付けなければと思った。

館長： 迷惑になるような声の場合は、声掛けをしているが、子どもの声そのものはなかなか調整が難しい。部屋で大きな音を出す団体には、大小会議室を取ってもらったり、隣が会議と解かっている場合にはご遠慮いただいたりしている。

(6) 令和7年度の取り組みについて

- ・ 靴袋持参や、部屋利用後の清掃について、協力をお願い。
- ・ 自主事業は、他施設とのコラボ事業を中心に、進めていく。

Q： 部屋の利用率はどのくらいあるのか？利用率も高いのであれば、自主事業の開催は多くなくてもよいのではないか。

A： 大会議室は8割、小会議室は7割ほどの利用率となっている。今年度は自主事業の回数はぐんと減らした。来年度も今年度程度の事業の開催を考えている。

2 その他

ご意見： 前回の委員会でも問題になった夜の防犯について、どうなったか。もっと対応策を考えたほうがよいのではないか。夜の会議室の利用がない場合も、防犯のためには、電気代はかかっても、点灯しておくほうがよい。

委員： 押したら外に向かって電気が点灯回転する装置などはどうか。小学生の持っているような防犯ブザーはどうか。

委員： 今は音を出すことで、刺されるということも考えなければならないのではないか。

館長： もとよりセコムとの契約はあるが、受付を離れてもボタンが押せるように、首から吊り下げ式のブザーを用意した。それは、音が出ずセコムに繋がる。折り返しセコムから電話があり、出られない場合、説明できない場合はセコムが駆けつけることになっている。

会長： ①夜間の会議室の点灯 ②音の出る防犯ブザーを用意する
まずこの2点を実施してもらいたい。

ご意見： キッチンについては、いつも委員会の場で話しているが、なかなか使われておらず、開けて使える設計であるのもつたいない。夜間にカフェのような使い方をすると防犯になるのではないか。

委員： ポットのお湯が常時沸いていて、ちょっと利用できるとか便利に使えないか。

館長： 一人勤務での対応では、キッチンの開放は難しい。事務室内に流しがなく、事務室も手狭なため、キッチンは、スタッフの仕事場としても使っている状態である。

Q： 今度、団体の総会など大人数で使うが、靴袋の連絡を回す方がよいか。

A： 靴袋がないと部屋利用ができないなどの制限をつけるつもりはないが、実際、間違いが起こって困るのは利用者のみなさんなので、協力いただきたい。

Q： 「荏田西憩いの広場」の使い方は？ 予約はどうするのか。

A： 「荏田西憩いの広場」はフリーで使えるので空いていればいつでも使える。20人以上の利用になる場合は、前もってコミュニティハウスに申し出てほしい。

Q： 部屋予約で、部屋が取れないなどのクレームはないのか？

A： クレームになるようなことはない。抽選で納得していただいている。自主事業も日程は考えて組んでいる。

ご意見： 午後②の時間帯は比較的予約も取りやすく、便利に使わせていただいている。

※ 次回、令和7年度第1回 荏田西コミュニティハウス委員会は、6/7(土)10:00~の開催

閉会挨拶 松山副会長

- ・ いろいろなご意見もあり、使い勝手が悪いところもあるが、大事な場所として、出来る範囲でその時できるベストのことは行っていけるとよい。